

5 / 8 公共事業チェック議員の会 農林水産省への質問項目

- 1 97年の閉め切り以降、大雨が降った際に、排水のために水門を全開にしたことは何回くらいあるのか。97年7月10日および99年9月11日を例にして、調整池の水位と湾の潮位、水門の開度・開門時間・最大流速を示すとともに、どういう条件のときに全開にする規則なのかご説明ください。
- 2 流速1.6m/秒以下で、しかも海水交換が出来るだけ大きくなるように、柔軟に開度を変える「もぐり開門」を行うと仮定した場合、どのような準備工が必要となるか。
- 3 かつて農水省は、02年までの資料に基づいて、降雨のために調整池水位が-0.5mを超えると背後地に湛水被害が発生すると説明していたが、03年以降において湛水被害は何回あったか。発生日と湛水面積、調整池水位、および降雨量を示されたい。また01年以降の最近の河川整備や排水機の新増設、排水路の整備状況を踏まえて、湛水被害が発生しない調整池水位はどこまで上昇したか。
- 4 背後地における今後の排水機の新増設、排水路の拡幅整備計画をお示し願いたい。
- 5 貴省は、「これまでのところ、国内においては、アオコの発生した湖沼の水を農業用水として利用することで農作物への被害が発生したとする事例は承知していない」と言うが、諫早干拓地がその国内第一号となる可能性は全くないと考えているのか。
- 6 調整池に海水を導入して水質を改善し、アオコ問題も解決して安心できる農業用水を確保するために、農水省は調整池に代わる農業用水源を検討する意思はあるか。また短期開門調査の際に、潮遊池塩分に農業利用上の問題が生じたか否か。
- 7 排水門基礎部にはサンドコンパクションは施工していないのか。また護床工外側のガタ土で洗掘が生じると、なぜ排水門の安全性に影響が及ぶのか。
- 8 期開門調査期間に、諫早湾内にしか観測網を敷かなかったのはなぜか。また調査期間中の有明海の潮目出現は、地元テレビ局でも放映された衆知の事実だが、なぜ出現し、なぜ閉門とともに消滅したのか、その原因をどのように考えているか。
- 9 ノリ第三者委が2カ月程度と提言した短期開門調査において、海水導入を実際には1カ月弱で打ち切った理由は何か。
- 10 前記2の「もぐり開門」では、水位変動20センチ幅の短期開門調査と「同程度の成果しか期待できない」と判断する根拠は何か。また常時開門の場合ならば、どういう成果が期待できると考えているのか。